

OC-01 神経疾患の克服を目指して 01

Jp

5月23日(水) 13:20 ~ 15:10

第3会場 (さっぽろ芸術文化の館3F 蓬莱の間)

我々は、ALSを、早期に診断し、正確に経過を追うことができるのか？

座長：小野寺 理 新潟大学脳研究所臨床神経科学部門神経内科学分野
三澤 園子 千葉大学大学院医学研究院神経内科学

OC-01-1 神経症候によるALSの早期診断：特に頸椎症との鑑別診断

安藤 哲朗 安城更生病院 神経内科

OC-01-2 発症早期のALS診断における筋エコー検査の実践とその有用性

山崎 博輝 徳島大学病院 神経内科

OC-01-3 ALSの早期診断：電気診断の役割

園生 雅弘 帝京大学病院 神経内科

OC-01-4 イメージングから：ALS病態カスケードの可視化

樋口 真人 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所

OC-01-5 髄液検査の有用性

細川 雅人 公益財団法人東京都医学総合研究所・認知症プロジェクト

OC-01-6 筋萎縮性側索硬化症の症状進展病態の基礎と臨床

横田 隆徳 東京医科歯科大学病院 脳神経病態学分野

OC-02 神経疾患の克服を目指して 02

En

5月23日(水) 13:20 ~ 15:10

第10会場 (ロイトン札幌2F ハイネス・ホール)

Research frontline of hereditary cerebellar ataxias

Chairs : Yoshio Ikeda

Department of Neurology, Gunma University Graduate School of Medicine, Japan

Yuji Takahashi

National Center of Neurology and Psychiatry, Japan

OC-02-1 SCA31: molecular pathogenesis and role of RNA chaperone

Kinya Ishikawa

The Center for Personalized Medicine for Healthy Aging, Tokyo Medical and Dental University, Japan /
Department of Neurology and Neurological Science, Graduate School, Tokyo Medical and Dental University,
Japan

OC-02-2 Repeat associated Non-AUG initiated (RAN) translation in Fragile X-associated Tremor Ataxia Syndrome

Peter K. Todd

University of Michigan, USA

OC-02-3 SCA42: new calcium channelopathy

Hideshi Kawakami

Department of Epidemiology Research Institute for Radiology & Medicine Hiroshima University, Japan

OC-02-4 Molecular Pathology of Spinocerebellar Ataxia 10

Tetsuo Ashizawa

Houston Methodist Research Institute, USA

HT-02 ホットピックス 02

公募 En

5月23日(水) 13:20 ~ 15:10

第9会場 (ロイトン札幌2F リージェント・ホール)

Nucleic acid therapeutics

Chairs : Takanori Yokota

Department of Neurology and Neurological Science, Tokyo Medical and Dental University,
Japan

Yoshitsugu Aoki

Department of Molecular Therapy, National Institute of Neuroscience, National Center of
Neurology and Psychiatry (NCNP), Japan

HT-02-1 Engineering selectivity into therapeutic oligonucleotides through chemical design

Punit P. Seth

Ionis Pharmaceuticals, Inc., Canada

HT-02-2 Antisense therapy for Fukuyama congenital muscular dystrophy

Tatsushi Toda

Department of Neurology, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Japan

HT-02-3 Recent progress of DNA/RNA heteroduplex oligonucleotide

Tetsuya Nagata

Department of Neurology and Neurological Science, Tokyo Medical and Dental University, Japan

HT-02-4 A first Antisense Oligonucleotide (ASO) therapy, Nusinersen, for Spinal Muscular Atrophy
Shinichi Torii
Biogen Japan Ltd., Japan

Co-hosted by: Nucleic Acids Therapeutics Society of Japan

G-01 新ガイドライン 01

Jp

5月23日(水) 13:20 ~ 14:50

第4会場 (さっぽろ芸術文化の館3F 黎明の間)

改訂てんかんガイドライン

座長：赤松 直樹 国際医療福祉大学 医学部 神経内科／福岡山王病院 脳神経機能センター
溝渕 雅広 中村記念病院 神経内科・てんかんセンター

G-01-1 てんかんと運転免許

神 一敬 東北大学大学院 てんかん学分野

G-01-2 妊娠可能年齢の女性における抗てんかん薬治療

木下真幸子 宇多野病院 神経内科

G-01-3 てんかん重積状態

溝渕 雅広 中村記念病院 神経内科・てんかんセンター

G-01-4 抗てんかん薬の選択

赤松 直樹 国際医療福祉大学 医学部 神経内科／福岡山王病院 脳神経機能センター

シン
ポジ
ウム

S-01 シンポジウム 01

Jp

5月23日(水) 9:50 ~ 11:50

第1会場 (さっぽろ芸術文化の館1F ニトリ文化ホール)

筋炎の最前線

座長：西野 一三 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部
清水 潤 東京大学医学部附属病院神経内科

S-01-1 筋炎の分類

西野 一三 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第一部

S-01-2 抗ARSミオパチー

鈴木 重明 慶應義塾大学医学部 神経内科

S-01-3 悪性腫瘍と筋炎(癌合併筋炎)

清水 潤 東京大学医学部附属病院 神経内科

S-01-4 封入体筋炎

山下 賢 熊本大学大学院生命科学研究部神経内科学

S-01-5 皮膚筋炎

室 慶直 名古屋大学大学院医学系研究科 皮膚結合組織病態学

S-02 シンポジウム 02

Jp

5月23日(水) 9:50 ~ 11:50

第11会場 (ロイトン札幌2F クリスタル・ルームA)

痙性対麻痺: up to date

座長：瀧山 嘉久 山梨大学大学院総合研究部医学域神経内科学講座
田中 章景 横浜市立大学大学院医学研究科神経内科学・脳卒中医学

S-02-1 Japan Spastic Paraplegia Research Consortium:
分かったこと、分らないこと

高 紀信 山梨大学神経内科学講座

S-02-2 遺伝性痙性対麻痺へのITB療法

一瀬 佑太 山梨大学大学院総合研究部医学域神経内科学

S-02-3 アルコール性・栄養欠乏性ミエロパチー

小池 春樹 名古屋大学院医学系研究科 神経内科

S-02-4 患者レジストリが支えるHTLV-1関連脊髄症(HAM)研究の最近の進歩

山野 嘉久 聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター 病因病態解析部門／聖マリアンナ医科大学大学
院 先端医療開発学

S-03 シンポジウム 03

Jp

5月23日(水) 9:50 ~ 11:50

第14会場 (ロイトン札幌20F パールホールAB)

ALSの病態関連分子と治療開発の展望

座長：熱田 直樹 名古屋大学医学部附属病院神経内科
漆谷 真 国立大学法人滋賀医科大学内科学講座神経内科

S-03-1 ALS関連遺伝子からの病態解明についてoverview

小野寺 理 新潟大学脳研究所 臨床神経科学部門神経内科学分野

S-03-2 ALSとautophagy関連遺伝子～optineurinを中心に

丸山 博文 広島大学大学院 脳神経内科学

S-03-3 TDP-43ノックインマウスを用いたALS発症病態の解析

河原 行郎 大阪大学大学院医学系研究科 神経遺伝子学教室

S-03-4 FUS/TLSに関連するALS/FTLDの分子病態

石垣 診祐 名古屋大学大学院医学系研究科神経内科／名古屋大学大学院医学系研究科難治性神経疾患治療学

S-03-5 iPS細胞を用いたALS治療開発研究

井上 治久 京都大学ips細胞研究所 増殖分化機構研究部門

S-04 シンポジウム 04

Jp

5月23日(水) 13:20 ~ 15:10

第5会場(さっぽろ芸術文化の館3F 清流の間)

自己免疫性脳炎の臨床スペクトラムの拡がり

座長：米田 誠 福井県立大学看護福祉学部
横山 和正 順天堂大学医学部附属順天堂医院 脳神経内科

S-04-1 自己免疫性脳炎における自己抗体と臨床像のオーバービュー

飯塚 高浩 北里大学医学部神経内科学

S-04-2 DPPX抗体関連脳炎の臨床像と病態生理

原 誠 日本大学医学部 内科学系 神経内科学分野

S-04-3 CLIPPERS 症候群update

横山 和正 順天堂大学医学部附属順天堂医院 脳神経内科

S-04-4 Progressive encephalomyelitis with rigidity and myoclonus (PERM)

藤田 信也 長岡赤十字病院 神経内科

S-04-5 new-onset refractory status epilepticus (NORSE)

奥野 龍禎 大阪大学大学院医学系研究科 神経内科学

S-04-6 アセチルコリン受容体に対する抗体と中枢神経障害

中根 俊成 熊本大学病院 神経内科

S-05 シンポジウム 05

Jp

5月23日(水) 13:20 ~ 15:10

第7会場(ロイトン札幌1F キャッスル)

脳梗塞急性期医療

座長：木村 和美 日本医科大学神経内科
岡田 靖 国立病院機構九州医療センター臨床研究センター、脳血管・神経内科

S-05-1 時短を見据えた病院前脳卒中救護の課題

井口 保之 東京慈恵会医科大学 神経内科

S-05-2 急性期脳梗塞に対するt-PA静注療法の今後の展望

古賀 政利 国立循環器病研究センター 脳卒中集中治療科

S-05-3 血管内治療の今後

鈴木健太郎 日本医科大学付属病院 神経内科学分野

S-05-4 脳卒中センターの今後

藤本 茂 自治医科大学内科学講座神経内科学部門

S-05-5 脳卒中リハビリテーションの今後

角田 亘 国際医療福祉大学医学部リハビリテーション医学講座